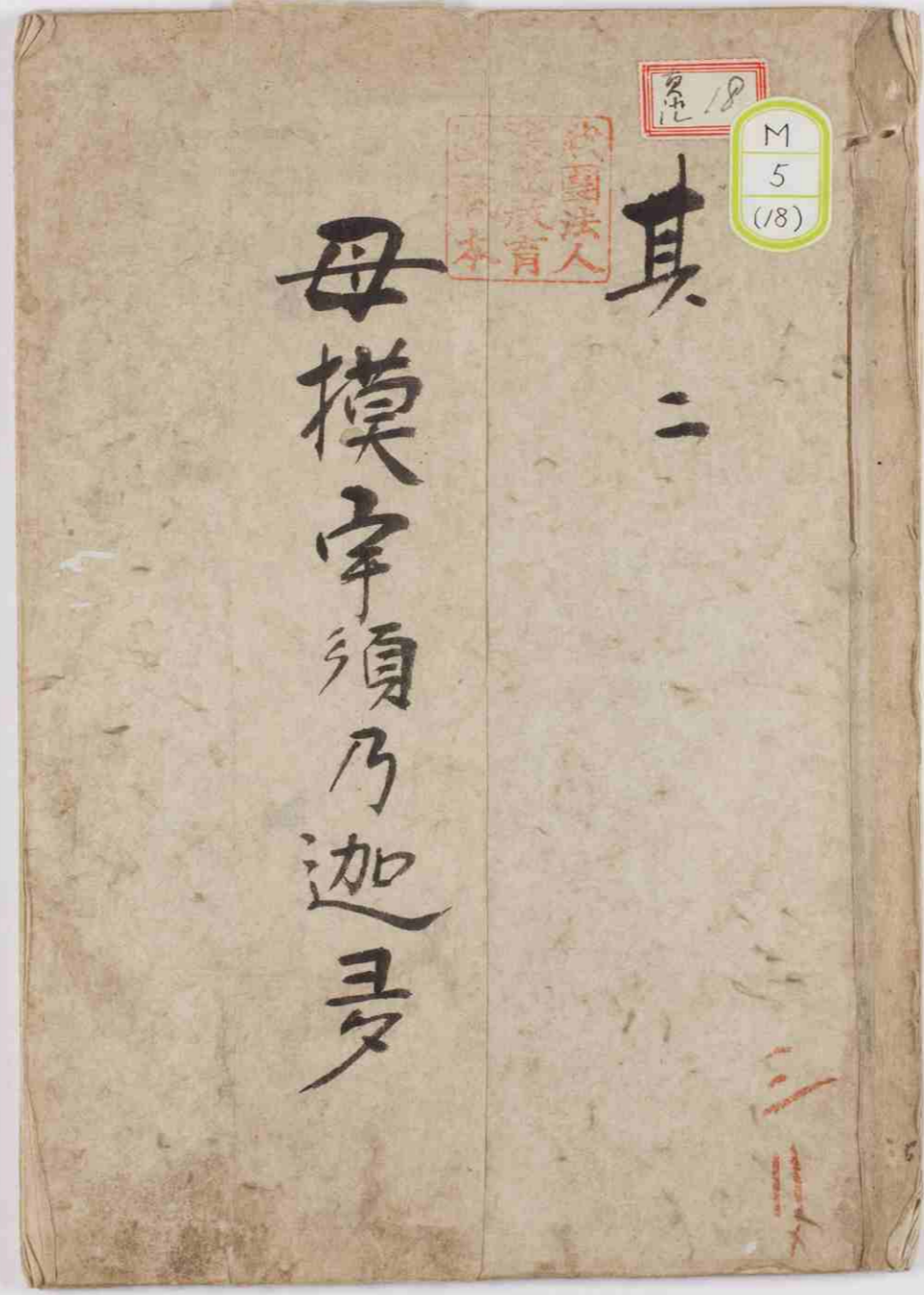


以下 汚れあり

以下 虫食い

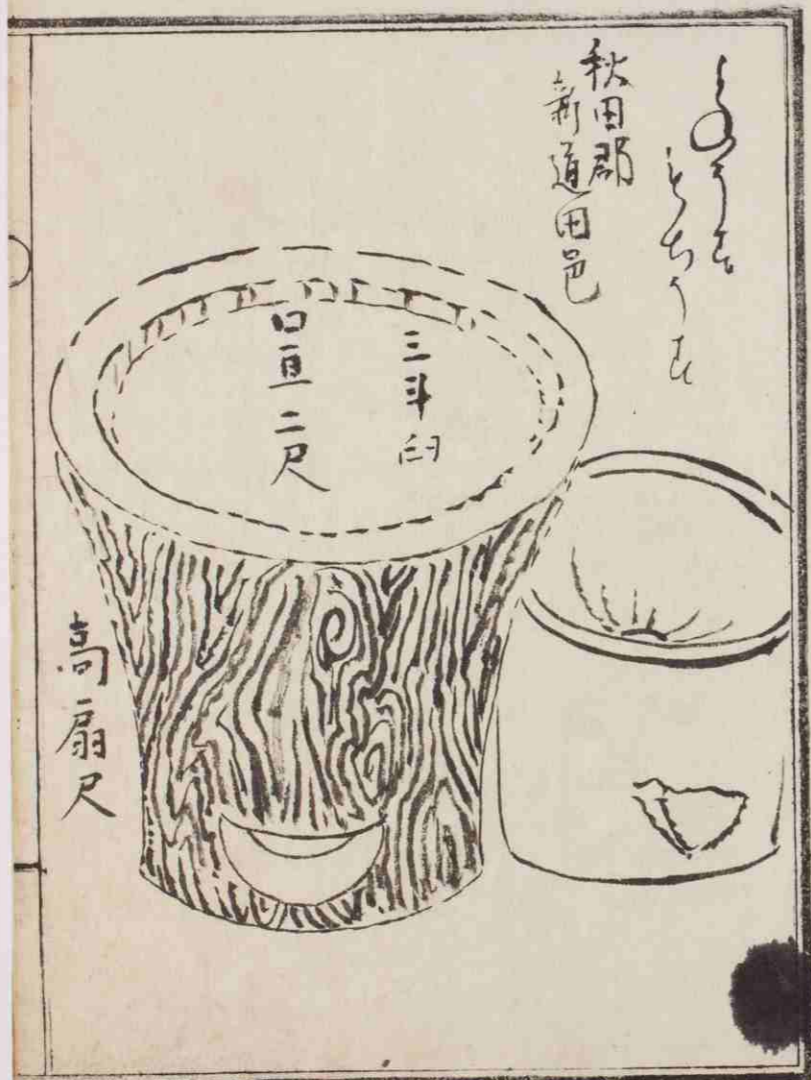
1/12



成國法人
漢武教育
國藏本

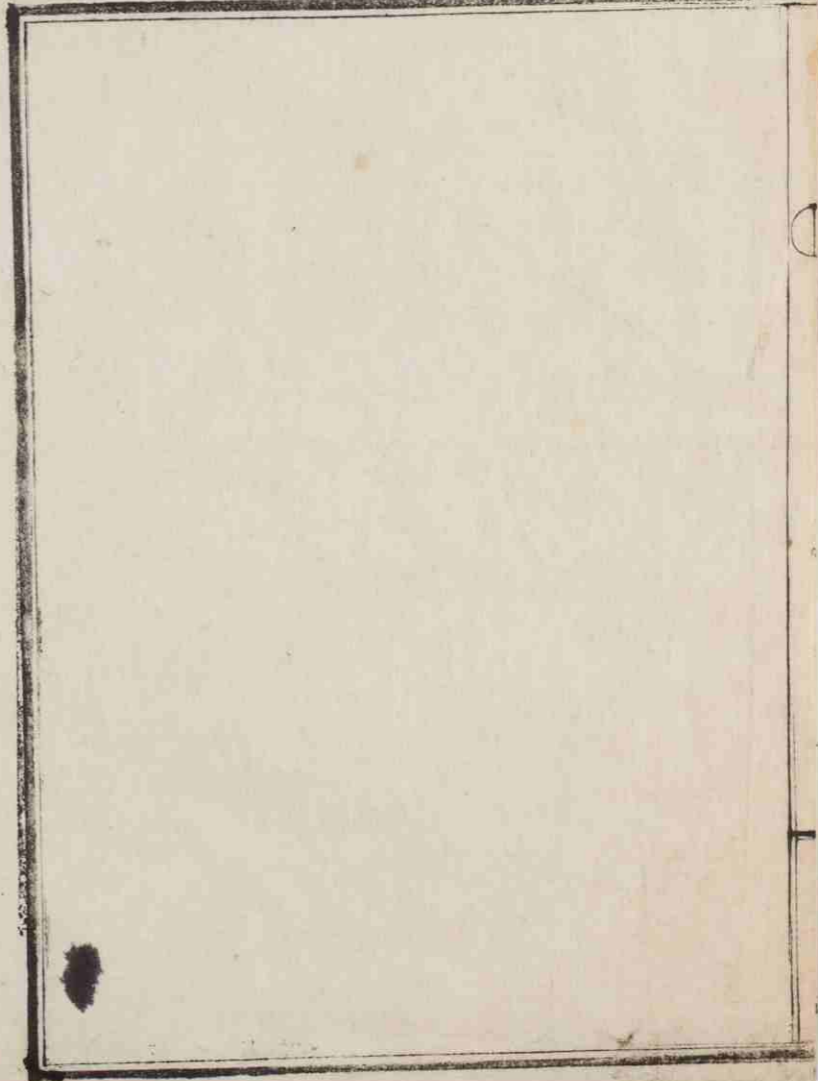
斯嘉理布美かろく寸 白を以打案の義を
寸、物と入るより詞之三才圖會主磨曰臍注磨日眼
を具えたる世邦の社をも同し○横白なり堅白なり横白
言事記見や唐曰や呼よりなりと土龔若木龔也と有り
まら

あし書ふまらる、梓夜の鬼之礼記ふ相とあり注ふ
相謂送梓聲なることなり



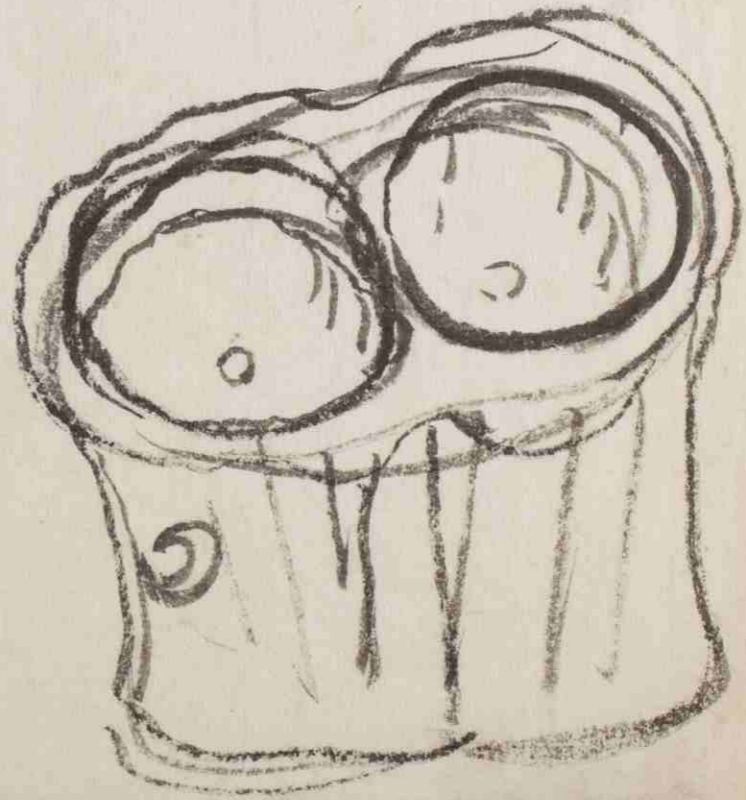
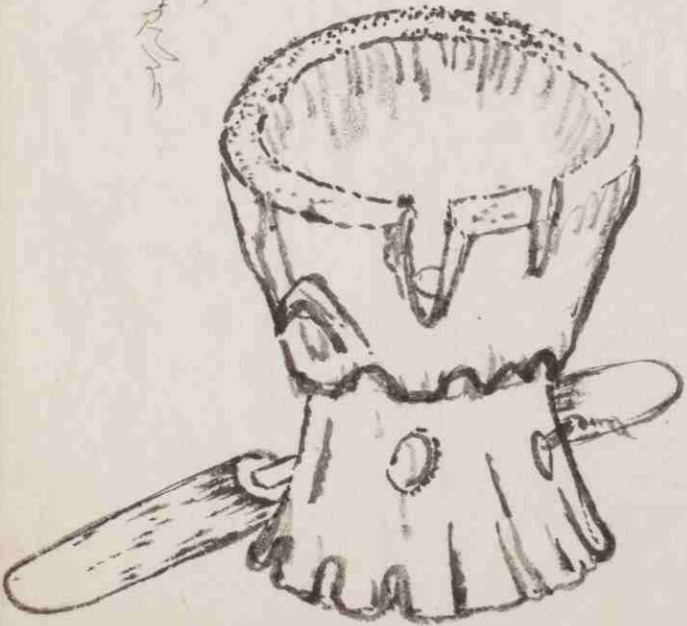
雄勝郡檜山郷上之邑
切通山里二家ニッ白

檜山郷山郷は陸奥國
駒形峯の檜山郷に存其地
於木里とてとく唐土に
あつたれは多かりしと
きりてはしりしと
みちのくろりしと
乃ち木の松とあれし
君々しとてし
と人唐のいしるは
りとも栗給山といふ
ら多かりしとてし
いふは木の松と多く
貢ふなりしとてし

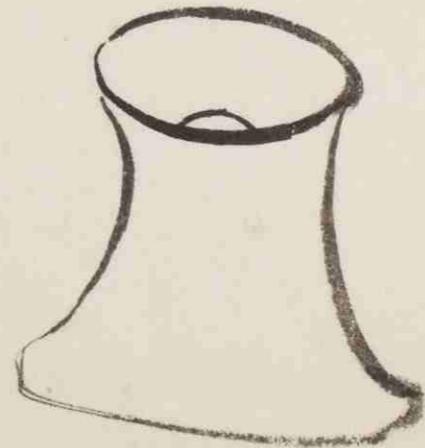


淡海白
近江國湖水、
神樂歌、
消ハ

佐三宗見也。志加之加良
左支也。見之祢川夕。
伊止已世信乃伊止已世信。
世年也。
御ミ御ミ春ハル女メ之美ノ予カ其レ我ガ彼レ哉ヤ。
伊止已世の世。うらみんば。うらみんば。うらみんば。



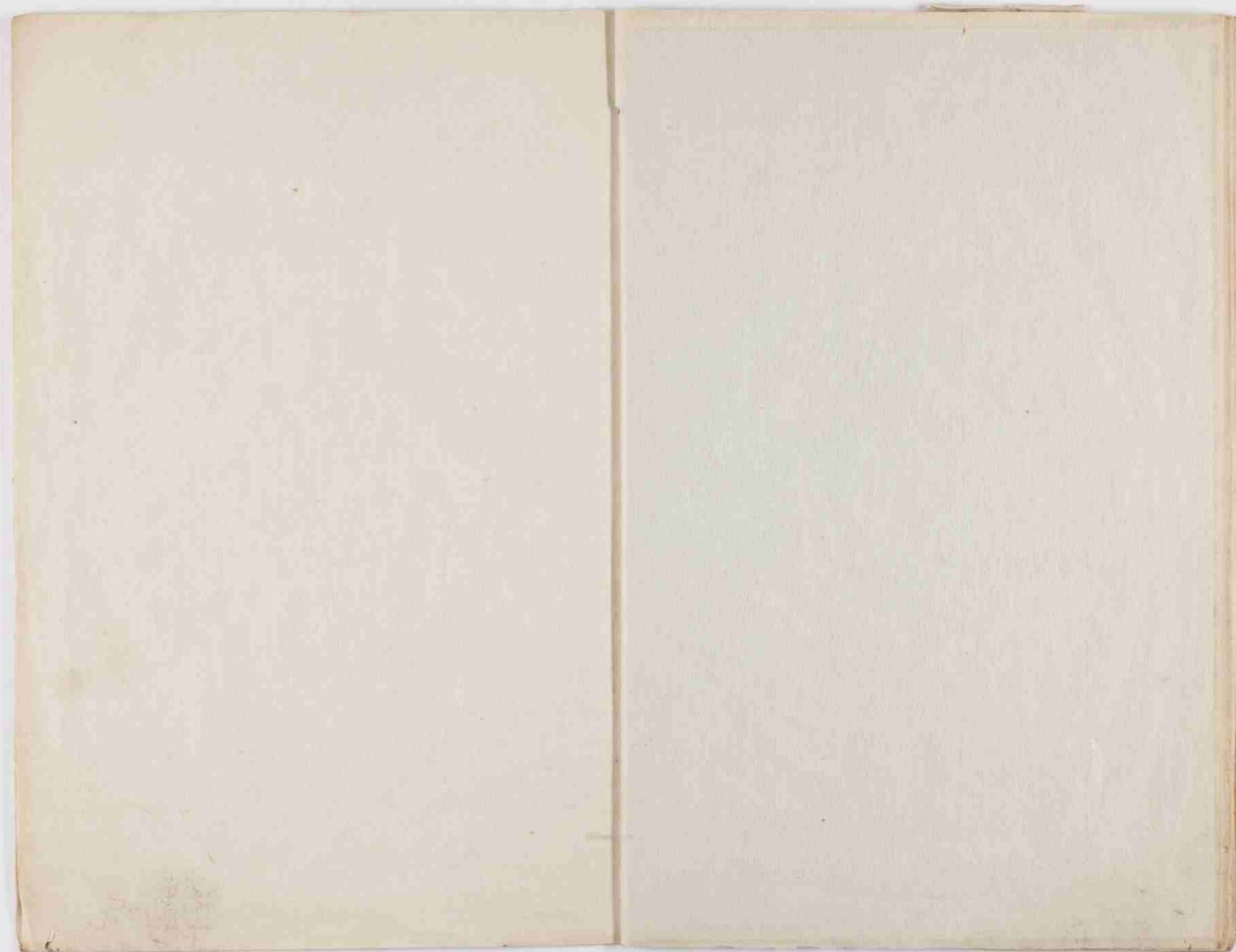
とらふつうとし
古まの鐘人の画よりなり



土器の節物活きさうとらふつうとし
 米と梅と確み水車はく梅田中を約占き一人扱
 圓の如く藤の内へ梅を
 仕ひては梅さき
 盆の底をあがら
 くらしくちあがりて
 桶はくちあがりし
 米のほろり
 一日極白米五
 六斗扱
 杵の光よ
 鉄のきく
 鉄のきく梅の上なる石のちりてきくこ
 梅のほろり
 梅のほろり
 梅のほろり



7/12



毛子
推の實

○

伊田の杜乃子枝小名高杉楠の樹

伊田の杜乃子枝小名高杉楠の樹... 三河國御油の驛... 正月二日... 神の集

津輕のさくら 知本物尾サクラのまゝとてさくらといふ事とある
 さくら白蛇とて作りぬありともさくらといふ事とあると詠
 みたる事ありありありありとてさくらといふ事とあると詠
 もとてさくらといふ事とあると詠みたる事ありありありあり
 浪連人の名久保之取蛇尾とてさくらといふ事とあると詠
 俗にさくらといふ事とあると詠みたる事ありありありあり
 茶所駒ウマとて又孟子筆心章悪業ウマ恐其乱苗也とてさくら
 藏抄ウマとて又孟子筆心章悪業ウマ恐其乱苗也とてさくら
 井屋ウマとて又孟子筆心章悪業ウマ恐其乱苗也とてさくら
 さくらといふ事とあると詠みたる事ありありありあり

津輕のさくら 知本物尾サクラのまゝとてさくらといふ事とある
 さくら白蛇とて作りぬありともさくらといふ事とあると詠
 みたる事ありありありありとてさくらといふ事とあると詠
 もとてさくらといふ事とあると詠みたる事ありありありあり
 浪連人の名久保之取蛇尾とてさくらといふ事とあると詠
 俗にさくらといふ事とあると詠みたる事ありありありあり
 茶所駒ウマとて又孟子筆心章悪業ウマ恐其乱苗也とてさくら
 藏抄ウマとて又孟子筆心章悪業ウマ恐其乱苗也とてさくら
 井屋ウマとて又孟子筆心章悪業ウマ恐其乱苗也とてさくら
 さくらといふ事とあると詠みたる事ありありありあり

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, written vertically on the right page of an open book. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. The script is dense and appears to be a form of historical Japanese or Chinese characters, possibly a mix of the two, given the context of the page number and the label '裏文字あり' (Reverse text present).

